

村田俊典会頭の所信表明(2015年3月13日)



藤井会頭のご指名により会頭を努めさせていただくことになりました村田でございます。

日伯修好120周年という大切な節目の年に大役を仰せつかり身の引き締まる思いでございます。

どうぞ、皆様よろしくお願ひ申し上げます。

ご存知の方も多いと思いますが、私はブラジル駐在通算18年となり、商工会議所の活動においても常任理事の年月は通算7年となります。この経験から現在の商工会議所を見ますと、年毎に活動が活発化しており、オールジャパンの観点での活動もますます顕在化していることが分かります。ひとえに、これまでの商工会議所の皆様のご努力の成果であると思います。本当に嬉しく思います。

私が会頭を努める期間、私が力を入れて行きたい事を皆様にお伝えしたいと思います。もちろん、会議所のモットーにのっとり進めてゆきたいと思いますが、より開かれた会議所にするにはどうすれば良いのか、チャレンジする会議所にするには、何をしてゆくのか、そして、魅力あふれる全員参加の会議所にしてゆきたいと思います。

さて、私が力を入れたいと思っているのは、第一に各委員会、部会の活動をより活発にして行きたいと思います。昨年立ち上がった機能強化委員会をはじめ、各委員会が活発に活動しております。この活動は、会議所の代表者だけではなく、会社全体で参加してゆくことに大きなベネフィットがあると思います。昼食会では各委員会の活動をお伝えするコーナーを設け、会員企業の多くの皆さんに参加していただくよう工夫します。

特に、昨年改選された理事会社 30 社は商工会議所活動の骨格を担う代表です。積極的に委員会、部会活動に参加していただけるよう私からもお願ひしてゆきたいと思います。

また、月に一度開かれている常任理事会、各委員会活動や部会活動などの活動をいかに会員の皆さんにお伝えしてゆくか、今は昼食会、商工会議所のサイトとメールが主なツールですが、その他のツールを含めて検討してゆきたいと思います。有益な活動をより多くの会員に感じてもらい、その結果参加者が増え、ベネフィット感が増してゆく。そのような努力をしてまいります。

実は、現在の会員の約4割弱がブラジル企業です。会議所の運営もブラジル企業の方々の声を取り入れながら推進してゆく必要があります。今回は専任理事の一人にブラジル企業の代表の方を任命いたしました。ご紹介したいと思います。Authent のマルコスハニウ氏です。マルコス氏には企業経営委員会を担当してもらいますが、もう一つのアサインメントとして、ブラジル企業の声を代表していただきたいと思います。ブラジル企業の皆さん、ご要望、ご提案がございましたら、是非マルコス氏にご相談いただけたらと思います。

もう一つチャレンジがございます。会員をどの様にして増やすかです。私は、会員数は会員が受けるベネフィットに比例すると思っております。その為には現在取り組んでいる活動を強化したり、昼食会のコンテンツを充実させたりする必要があると思います。また、遠隔地の企業の方にも入ってもらうためにはどうしたら良いかを考える必要があります。皆様のアイデアがございましたら、是非ともお寄せ下さい。

さらに、私どもはブラジル日本商工会議所なのですが活動の中心および会員はサンパウロです。従って、リオデジャネイロ、マナウスをはじめとする、ブラジル各地にある地方の商工会議所のリード役である必要がございます。各地の商工会議所との連携を深めブラジル全国ベースで役に立つ商工会議所になる必要があると思います。その為にはどのような活動をしてゆけばよいかについても理事会でよく話し合い推進してゆきたいと思います。

ブラジルの政治経済の先行きが不透明になっている今こそ、会員企業の英知を結集して皆様のベネフィットになる活動にしてゆきたいと思います。どうか、皆様のご支援を頂きますようよろしくお願ひ申し上げます。ご清聴ありがとうございました。 (2015年3月13日の懇親昼食会にて)

